

二学期始業式

9月1日(木) 2学期の始業式、体育館改築工事のため今回は校内放送で行うという実に興味深い出来事でした。

私からは、当日早朝講座の観察を兼ねて、登校している生徒たちに夏休みの感想を聞きながら頭に浮かんだこと、まず、G高の夏休み中の活躍、全国大会に出場したフェンシング部、放送部、そして、県吹奏楽コンクールで吹奏楽部の銅賞受賞、美術部の県スケッチ大会の入賞、サッカー部アンダー16大会の準優勝、ハンドボール中北部大会のリーグ戦全勝、バレー部1年生大会の強豪相手との素晴らしい試合、ヒップホップダンス部の大会出場などなど……。そして、3年生たちの受験への準備……。などを紹介し、各学年でのやるべき事を「時間」の大切さを挟みながら話しました。次に、あと3週間で体育祭です。体育館がない。練習場所確保が厳しい。様々な試練が我々には課せられていることを『「時間の使い方」「今を大切に生きる」ことでこの試練と一緒に乗り越えよう』と話しました。

生徒代表あいさつでは、生徒会総務の亘保裕之助君(2-6)が生徒代表としてあいさつし「体育祭を絶対に成功させよう」と力強いスピーチがありました。

今学期から新しいALTの先生が着任しました。Oliver Weeden(オリバー・ウイードン)先生です。イギリス出身で22歳の若さ、専門は法律学、日本に来る前はアフリカでボランティアで教鞭を執っていたこともあったそうです。スピーチは最後まで日本語で行い見事でした。

2学期HR役員の認証式では赤嶺陸斗君(3-5)が代表してあいさつし「G高を盛り上げていく」と強い決意の表明がありました。

次に本校の「学力向上の取り組み」の説明が国語の山口栄臣先生によって行われ、①自学自習の励行 ②共働することの大切さ ③ノルティ手帳の積極的な活用について熱い話がありました。本校独自の「学力向上対策(Gサイクル)」については、後日詳しく紹介いたします。

最後に、生徒指導部知念清喜先生から学校の日常生活及び生徒としての在り方について諸注意がありました。

人前で話すことと、人がいることを想像して話すことの難しさを知りました。

今回の私のあいさつは、特異な動きをみせた台風10号による被害の甚大さから話のヒントを得ました。被災された地域、方々の一日も早い復興と亡くなられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。